

第 32 回（公社）愛知県診療放射線技師会学術大会報告

学術部 杉本政司

第 32 回公益社団法人愛知県診療放射線技師会学術大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がまだまだ終息しない状況下、2021 年 3 月 7 日（日）12 時 45 分から 16 時まで Web 配信と一部会場参加のハイブリッド型開催としました。会場は、名古屋市中区の JA あいちビル 14 階会議室 A・B でした。

大会テーマを「継往開来 ー未来を切り開くテクノロジーと匠の融合ー」とし、熊本大学病院 医療技術部 診療放射線技術部の池田龍二先生の教育講演、愛知県内在勤の会員による一般演題 9 題、刈谷豊田総合病院 顧問の佐野幹夫先生の特別講演を企画しました。

事前参加登録は、北は北海道、南は九州熊本までの全国から 289 名（会員 263 名、非会員 26 名）のお申し込みをいただきました。その内、アクセスしていただき受講されたものと見なされた方は、236 名（会員 216 名、非会員 20 名）でした。不慣れな Web 配信でしたが、専門の業者（サンプルネットメディカルコンベンション事業部）と契約し、運営して頂きましたので、無事に配信できたものと思います。本来ですと、学術大会は会場型を企画し、より多くの若手診療放射線技師に研究発表の場を提供したいところですが、Web 配信の良さも痛感しており、その時代、その時の環境に応じた形式の学術大会になれば良いと思いました。次回は、どのような形になるかはわかりませんが、（公社）愛知県診療放射線技師会が総力を結集して開催したいと思います。

